

米山記念奨学事業は日本のロータリーによる多地区合同活動で、60年にわたって受け継がれている事業です。2017-2018年度、我が浦安ロータリークラブが米山奨学生世話クラブとなりコピラさんと交流したことがきっかけで、ネパール小学校支援活動を開始しました。

新型コロナの関係で現地に赴くことは不可能ですが、コピラさんとご家族のご協力のもとで今までに実施した同活動の報告をいたします。

2018-2019年、ネパールにある小学校を中心に約180人の生徒さん達に教育活動と文房具等の寄付活動を実施しました。この活動で、ネパール地元新聞に浦安ロータリークラブの名前が掲載され一部地域で有名になりました。結果、児童の親の経済的負担が減少し学校教育へ関心を持つ子供たちが増えたそうです。

2020年2-3月、ネパール南部の2つの学校で活動を実施しました。今回は8人の子供たちを選考し、奨学金授与をいたしました。奨学金内訳は、1年間の学費、教科書や文房具購入費、制服代、特別授業料です。

2020年12月、浦安RCは今後5年間継続してネパール奨学生支援が行えるように奨学金費用を予算化しました。同時に会員諸氏から頂いた寄付金を基金として積み立てネパール支援対策に充当するようにしました。

コピラさんのお話では、「ネパールでは、中学校までが義務教育ですが、罰則が無い為、親の判断で教育が決まります。国立の学校では、小学校までの教育費は無料ですが、無料対象は授業料と教科書代だけです。日々の文房具や制服などは各家庭の負担となります。また家族の面倒を見たり、家事を手伝ったりして学校にいけない子供たちも多く存在します。その為に識字率が低く、字が読めない、書けないでだまされることも多いと聞きますので、これからも子供たちのサポートをして、最低でも文字の読み書きが出来るようになって欲しいと思っています。」ということでした。

我が浦安ロータリークラブも極力支援活動を実施したいと思います。ネパールのロータリークラブと交流を図り、信頼関係が構築できれば、将来的には「グローバル補助金」を申請し、大規模な支援活動を実施したいと思います。



2018-2019年度ネパール小学校支援事業実施中のコピラさん。



2018-2019 年度ネパール小学校支援活動。浦安ロータリー名入りバッグと文房具贈呈風景



2020 年ネパール教育支援活動に集まったネパールの子供たち



浦安ロータリークラブ名称がプリントされた衣服と文房具等の配布。



教室の子供たち



未就学児童たち。服が買えず、凍死する子供たちも多いそうです。